

科目名	論理と思考B	科目コード	1117	単位数	3
担当者名	麻生 尚志	開講セメスター	第2セメスター	開講年次	1年次
授業の方法	講義	到達目標	B	実務経験	無
ナンバリング	BPh202	DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

● 授業のねらい

すべての学問は哲学から始まりました。それが、17世紀の第1次科学革命によって、物理学などの自然科学が哲学から独立していきました。科学の意味することや限界を探るのが科学哲学です。科学が誕生するに至った流れや、科学についての科学哲学の論争などを紹介していききたいと思います。それによって、私たちが正しいと信じているいわゆる「科学的知識」がどういった性格のものであり、どういった限界があるのかわかるようになります。そのことが「自分だけが正しい」という驕った態度への反省にもなりますし、また「知らない世界」や「知らない世界」について謙虚に対応するきっかけになります。

● 到達目標

歴史上、人々が自然について、ひいては世界についてどのように思考しその理論を作り上げてきたかを理解し、それを基礎に自分で世界について思考する基本的姿勢を身につけることを目標とします。論理的な問題については、実践的な問題解決能力を身につけることを目標とします。それらを通じて、真理表など簡単な記号論理の証明ができるようになります。また、複眼的なものの見方を身につけることができます。

● 授業内容

- 1週目 ウィトゲンシュタイン『論理哲学論考』（1）
- 2週目 ウィトゲンシュタイン『論理哲学論考』（2）
- 3週目 ウィトゲンシュタイン『論理哲学論考』（3）
- 4週目 論理実証主義の源流（コントの実証主義、マッハの現象主義、イギリス経験論）
- 5週目 論理実証主義 + 試験
- 6週目 形而上学と科学、ポパーの反証可能性
- 7週目 科学的事実論と反事実論
- 8週目 クワイン「経験主義の二つのドグマ」
- 9週目 クワイン「なにがあるのかについて」
- 10週目 クワイン「自然化された認識論」+ 試験
- 11週目 ヴィトゲンシュタインの言語ゲーム論
- 12週目 クーン『科学革命の構造』
- 13週目 分析哲学と現代論理学、現代論理学の基礎概念と論理的思考の訓練
- 14週目 数学基礎論の展開
- 15週目 人間はなにを知りうるか + 試験
- 16週目 まとめ 論理的思考とはなにか 科学的思考とはなにか + 試験予備日（第15週で受験できなかった人のための）

● 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回次回のおおまかな予告のプリントをお渡ししますので、専門用語などについて簡単に調べておいてください。（30分の予習）。また、講義後は、講義した内容について友達と議論をしたり、自分であれこれ「別のようにも考えられる」など熟考してください。また、質問への回答プリントを参考に、「さらに深く理解する」こともしてください。（1時間半の復習）

● 成績評価の方法・基準

試験を3回行います。それぞれ30点、30点、40点とし、全体で100点として評価します。なお、出席を重視しますので、各試験までの出席が三分の二以上を評価の条件とします。

● 履修上の留意点

講義では、いろいろな世界像や理論が示されますから、それら相互の類似点と相違点、世界像と思考のあり方との結びつきに注意してください。記号論理の問題については、自分の手と頭を使って問題を解くようにしてください。講義中にも練習問題を出します。

● 課題に対するフィードバックの方法

試験を採点、添削の上返却します。

● テキスト

テキストは用いません。適宜プリントをお配りします。

● 参考書

ウィトゲンシュタイン『論理哲学論考』（岩波文庫）2003年 858円

● 更新日付

2024/02/22 06:36